

発言No.

14

受付No.

20

令和 3 年 6 月 10 日
10 時 42 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 防災・減災対策について

(1) 避難所について

- ① 福祉避難所については、老人福祉施設や障がい者支援施設などが適していると考えますが、浜田市の福祉避難所の中で該当するのは、8か所中4か所だと思えます。施設側が運営に支障が出ることを懸念され、指定を望まれない状況もあるようですが、浜田市での今後の進め方について伺います。
- ② 政府は大規模災害時に配慮が必要な人が過ごす「福祉避難所」に、一般住民が殺到しないようにするためあらかじめ対象者を自治体が決め、事前に住民に知らせる制度を新たに設け、運営に関するガイドラインを改正して市区町村に周知したとのことですが、浜田市の状況について伺います。
- ③ 5地域の一時避難所の中で、金城地域は他地域と比べてとても少ない理由について伺います。

(2) 災害備蓄品について

- ① 以前の質問で液体ミルクの備蓄について取り上げ、検討するとのことでしたがその後の状況を伺います。
- ② 災害備蓄品の使用期限がくるものについては、有効利用されていると思えます。最近、生理の貧困ということが国内のみならず海外でも取り上げられています。生理用品を買えない女性への支援として無償配布を始めた自治体もありますが、備蓄品の活用もひとつの手段だと考えます。今後このような対応は考えられないか伺います。

(3) 個別計画について

- ① 改正災害対策基本法が成立し、災害弱者ごとの個別避難計画の作成が市町村の努力義務となりました。対象者全員の計画を作成済みの市町村は全国で1割程度となっており、計画作成を促すのが狙いで、作成経費を支援する地方交付税措置もされました。浜田市の現在の作成状況を伺います。

(4) 防災士について

- ① 浜田市の防災士の数と、資格取得後の活動について伺います。
- ② 令和3年度島根県防災士養成研修が9月に浜田市で行われます。地域防災の担い手として必要な人材だと考えますが、これまで消防団員の中から推薦されていたように記憶しています。対象を希望する市民に拡充することは考えられないか伺います。

(5) 防災教育について

- ① 自然災害が各地で頻発する中であって、防災教育が重要となっています。新学習指導要領でも、災害の教訓を踏まえた防災教育に関する内容が重視されたと伺っています。具体的にはどのような学習が行われているのか伺います。

2. 労働者協同組合について

(1) 地域での活用について

- ① 代表質問でも取り上げさせていただきましたが、昨年12月に「労働者協同組合法」が成立し、先日は松江市で学習会が行われたようです。NPO法人は行政の認証が必要ですが、この組合は届け出だけで発足できるというメリットがありますが、このほかにどのようなメリット、デメリットがあるのか伺います。
- ② 今後、協働のまちづくりを進める中で、市民の皆さんの選択肢のひとつとして情報提供を行っていただきたいと思いますが、ご所見を伺います。